

公共建築

学校改築 校舎中庭 生徒の誇りと愛着を育む
 ピロティ 渡り廊下 歩行動線 「城下町しまばら」らしい校舎を建設

【島原工業高校校舎等改築工事】

事業概要

島原市本光寺町
 教室棟、実習棟、体育館、武道館1式
 市街地内にある実業高校の改築工事
 （校舎・体育館・武道館の建替え）



島原らしさを表現した壁面

地域の特徴

島原半島の東部、島原市街地の一角に位置する。周辺は低層の家屋が建ち並ぶ住宅地であるが、島原城や武家屋敷通り、鯉の泳ぐまちなどの観光地がある市の中心部と島原ICとを結ぶ幹線道路が通っている。

専門家の意見

- ①校門の門構えや中庭をデザインするなどアプローチ部分に島原らしいデザインを取り入れるとよい。
- ②生徒の動線は雨掛かりにならないようにするとよい。
- ③各学科棟のカラー表示を検討してみてもどうか。
- ④庇ルーバーの取り付け方を検討してほしい。

配慮した点

- I 複雑な現地建替え手順を考慮しつつ、校舎群の機能的な配置計画を実現した。
- II 地元産の石を使用するなど、島原らしさを表現した。（意見①）

【計画平面図】



整備後

【整備のポイント】



妻側壁面に島原石や瓦を取り入れ、島原らしさを表現した。（意見①）



島原石の門柱（意見①）



開放渡り廊下を設置することで、生徒が雨に濡れないよう配慮した。（意見②）



玄関部のピロティ（意見②）



棟銘板を各学科のシンボルカラーで色分けし、学科の特色を演出した。（意見③）



庇ルーバーに傾斜を付けることで開放渡り廊下への日光が遮断され、かつ通風が確保された。（意見④）



武道館（左）と体育館（右）

まとめ

- ・学校にありがちな死角や暗がりとなる部分が比較的少なく、全体的に明るい学校環境ができた事例である。
- ・中庭にエアコンの室外機が設置され、バランスの取れたデザインの中で目立っているが、整備後に設置の要望があったため対応できなかった。（右写真）



学科棟間の中庭スペース

公共建築

休憩所新設 植栽 海水浴場 屋根 休憩所 トイレ 防犯性

国道沿いの景勝地に、開放感あふれる多目的な休憩施設を整備

【川内港海岸環境整備事業（千里ヶ浜地区）】

事業概要

平戸市川内町
休憩所・トイレ(木造平屋建て340㎡)
海水浴場に隣接した休憩施設の新築工事

地域の特徴

平戸島の北東部に位置し、平戸瀬戸に面した海岸沿いの地域である。前面に海水浴場、背面に観光ホテルがあることに加え、島を縦貫する国道沿線であり、多くの観光客やレジャー客が目にする場所である。

専門家の意見

- ①海水浴シーズンだけでなく、通年で利用できる施設形態とした方がよい。
- ②基本設計の施設規模は過大であり、見直した方がよい。
- ③前面道路からの眺望確保や死角の発生防止のため、壁面をできる限り少なくし、明るく開放的な構造にした方がよい。

配慮した点

- I 通年で多目的に利用できる施設形態とした。(意見①②)
- II 開放的で死角の少ない平面計画とし、デザイン的にも瓦葺の切妻屋根を基調として整えた。(意見②③)



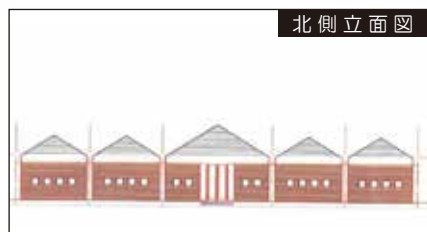
海への眺望

【当初計画と最終計画の比較（意見①②）】

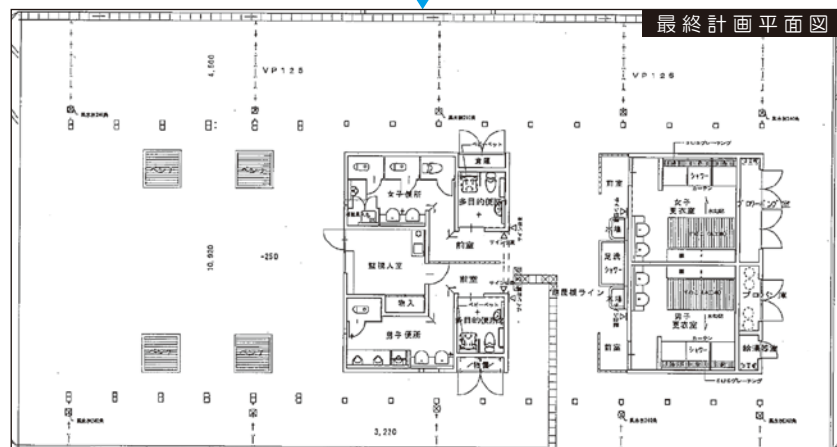


当初計画平面図

当初計画
・利用者が使いやすいよう、更衣室とロッカーが一体となった施設

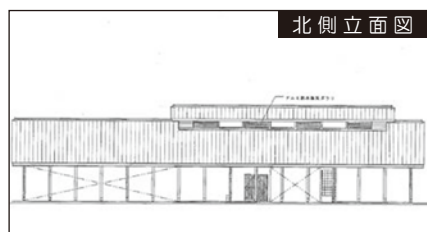


北側立面図



最終計画平面図

最終計画
・適正な施設規模への見直し
・四阿のように広く抜けた空間
・薄く緩い勾配屋根
・駐車場へ高木植栽



北側立面図

【整備のポイント】



壁面を少なくし、道路から海への眺望を確保した。(意見③)



海側からの眺望



広場と一体的な利用ができる休憩エリアを可能な限り大きくとった。(意見①③)



圧迫感を減らすため天井は貼らず、構造材が露出することから金物が表面に出ない鉄筋拘束接合による木質ラーメン工法を採用した。



夏場だけ利用されるシャワー・更衣室と通年利用のトイレを分割し、管理しやすく見通しも良い配置とした。(意見①②)

まとめ

- ・基本設計と全く違うものとなったが、結果的にデザイン面だけでなく、機能面においても改善できた事例である。
- ・当初の計画を見直すことにより建設コストの縮減が図れた。
- ・道路から海への眺望を確保するため、可能な限り壁面を少なくしたことにより、周囲の自然景観とよく調和したデザインとなった。

公共建築

トイレ新築 植栽 公園
 トイレ 傾斜地

観光名所の公園に、傾斜地形を活かしたオシャレなトイレを整備

【西海橋公園トイレ新築工事】

事業概要

佐世保市針尾東町
 トイレ（RC造平屋建て80㎡）
 多くの観光客が訪れる公園内のトイレ新築工事

地域の特徴

大村湾と外海をつなぐ針尾瀬戸の両側に広がる大規模公園である。渦潮や西海橋を始めとする雄大な景観を望むことができ、園内には様々なレクリエーション施設が整備されているため、県内外から多くの人々が訪れている。

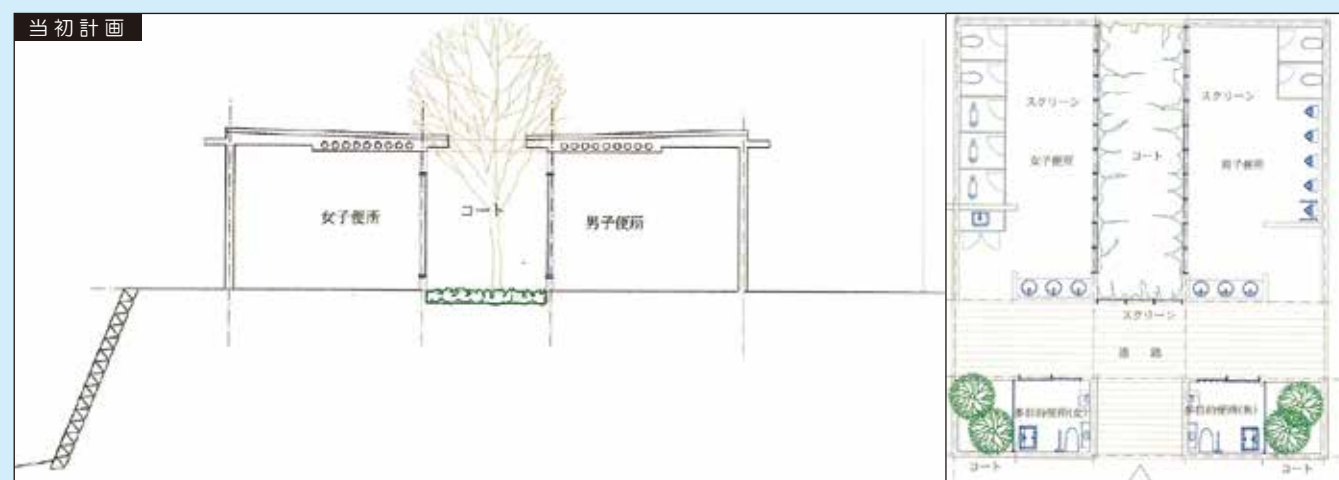
専門家の意見

- ① 現地のなだらかな地形を生かすため、擁壁などの人工構造物は避けたほうがよい。
- ② 橋の構造物が大きいので、橋脚や橋桁に上手く調和したデザインがよい。
- ③ 橋脚の圧迫感があることから、植栽で和らげてはどうか。

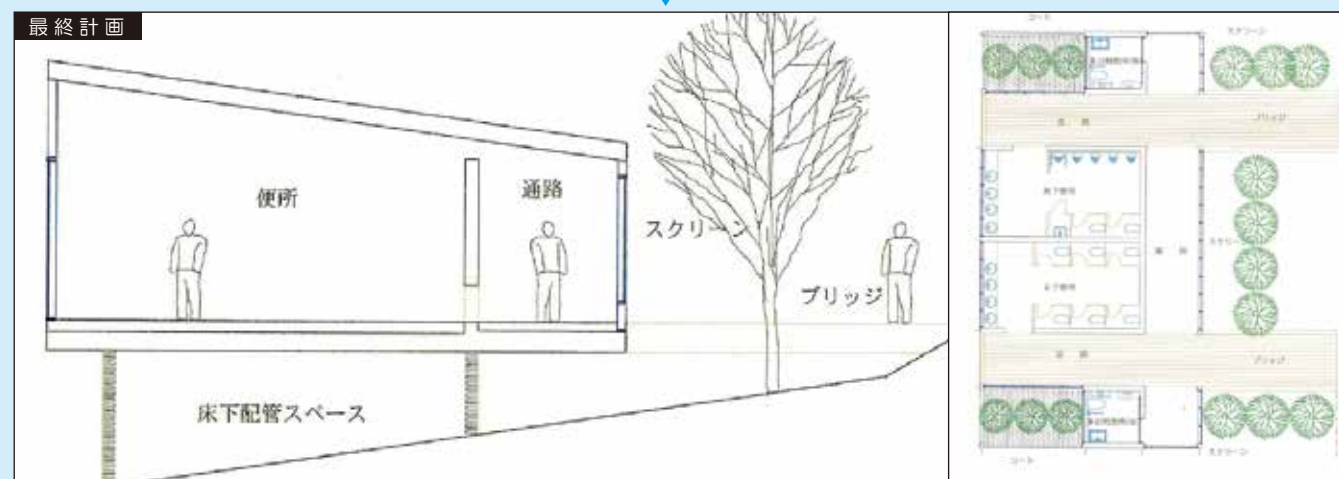
配慮した点

- I 盛土をせず、自然の地形を生かしたデザインとした。（意見①）
- II 外壁の仕上げを工夫し、橋梁との調和を図った。（意見②）

【構造の検討（意見①）】



地形を生かした構造を採用した。



トイレ全景



新西海橋とトイレの位置

【整備のポイント】



現地の地形を生かし、なだらかに傾斜している地盤に建築し、駐車場からブリッジを架けた。（意見①）



外壁の仕上げをコンクリート打ち放しとし、橋の構造物と調和させた。（意見②）



トイレと橋梁の間に植栽を配し、柔らかいイメージを演出した。（意見③）



多目的トイレ内部



見晴らしがよい洗面スペース

まとめ

・ 傾斜を上手く利用した建築物の事例であり、周辺景観に馴染むようなつくりとなっている。

公共建築

トイレ新築 広場 駐車場 地域景観に溶け込んだ
案内サイン トイレ 世界遺産候補 飾らないトイレを整備

【九州自然歩道（奈留島地区）整備事業】

事業概要

五島市奈留町大串
トイレ（木造平屋建て20.16㎡）
観光施設に隣接する広場内のトイレ新築工事

地域の特徴

五島市の二次離島、奈留島の北西部に位置し、海と山に囲まれた自然豊かな小集落である。集落内には九州自然歩道が通っているほか、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である江上天主堂（重要文化財）もあり、観光地としての需要が高まりつつある。

専門家の意見

- ①教会の写真の撮るときにトイレが写らない配置にした方がよい。
- ②トイレの規模は現案の3分の2以下で検討した方がよい。
- ③トイレ周りの石垣は既存の集落のように積めないで、木の柵ぐらいでよい。

配慮した点

- I 江上天主堂から海への眺望を遮らない位置に配置した。（意見①）
- II 教会の大きさに比べて施設規模が過大にならないよう配慮した。（意見②③）

【位地・構造の検討（意見①②）】



最終案：地元住民が会議採択案に反対したため、変更した。



県道から見たトイレ

【整備のポイント】



海側ではなく県道側へ配置し、規模も縮小した。（意見①②）



教会への通路から海への眺望（意見①）



トイレの存在感を抑えるため、石積も木の柵も設置しなかった。（意見③）



トイレサインも落ち着いた色合いとした。



トイレと駐車場の位置



舗装（市事業）：トイレ整備と併せて施工した。

まとめ

- ・トイレ・駐車場・園路の配置案を複数パターン作成し、県・市・地元で協議を重ね、現在地に決定した結果、教会から海への眺望、海側から教会への眺望ともに確保された。
- ・隣接する既存の倉庫とデザインを統一することで、周辺の景観と調和した事例である。

公共建築

トイレ新築 公園
トイレ ユニバーサルデザイン

自然に囲まれた公園で、
使いやすさを徹底追及したトイレを整備

【百花台公園トイレ新築工事（大芝生広場3）】

事業概要

雲仙市国見町多比良成
トイレ（木造平屋建て96.05㎡）
多くの県民が訪れる公園内のトイレ新築工事

地域の特徴

島原半島の北部、旧国見町の雲仙山麓に位置する大規模公園である。豊かな自然に囲まれ、雲仙岳や有明海を始めとする雄大な景観を望むことができるほか、園内には様々なスポーツ・レクリエーション施設が整備されていることから、多くの人々に利用されている。

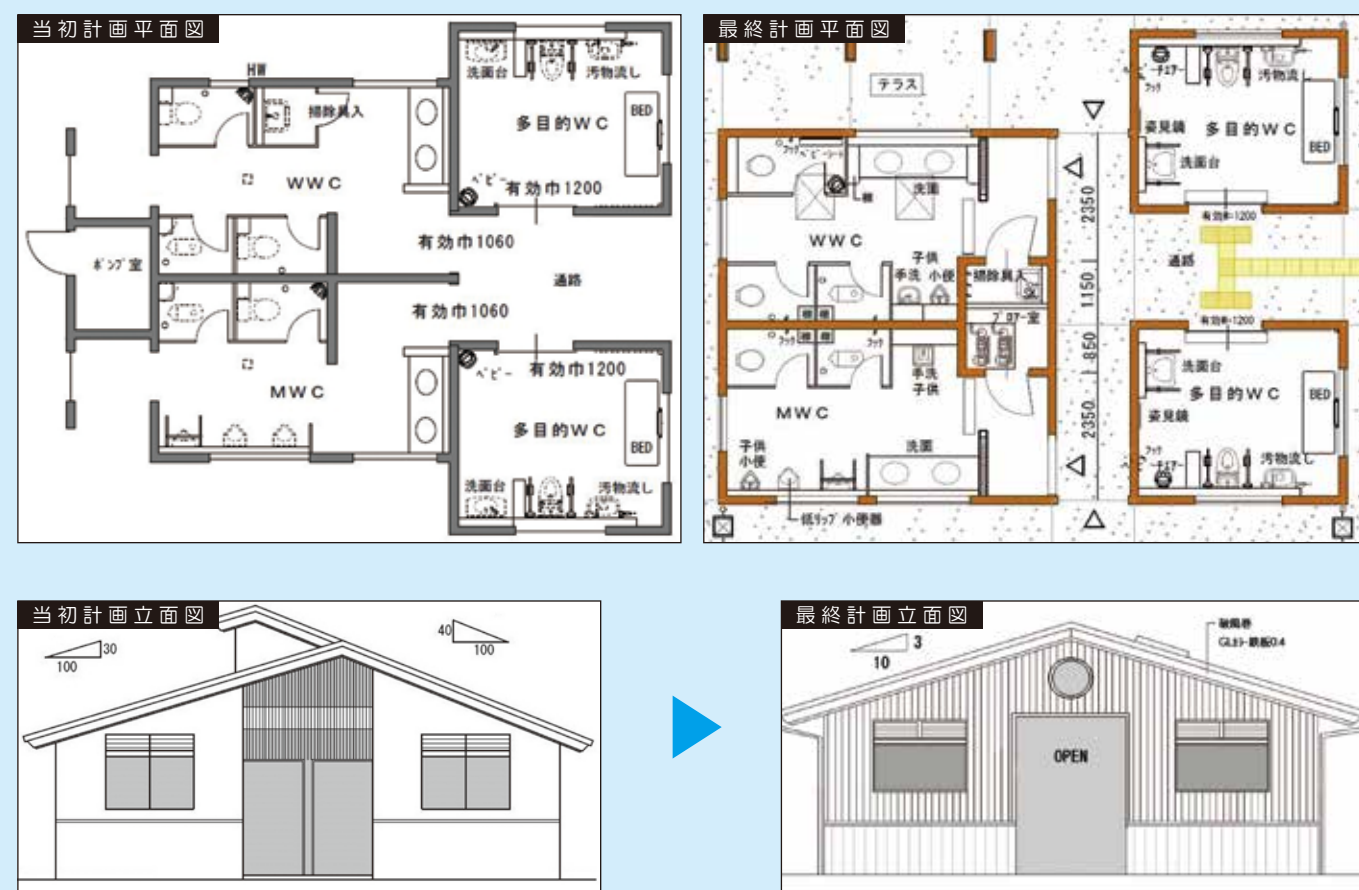
専門家の意見

- ① 外観や外装の素材は過去に建築したトイレと合わせた方がよい。
- ② 室内を明るくするため、明り窓を設置してはどうか。
- ③ 女性トイレにも子供用小便器を設置してはどうか。
- ④ 荷物置きのため棚やフックを設置し、女性でも使いやすいようフックの位置に配慮してほしい。
- ⑤ 男女のトイレ入口は離れた方がよい。

配慮した点

- I 園内の既存トイレと色を合わせるなど、周辺の景観に配慮した。（意見①）
- II 内部設備を充実し、多様な利用者に配慮した。（意見②～⑤）

【構造の検討（意見①）】



広場側から見たトイレ

【整備のポイント】



外装の素材は既設トイレと統一した。（意見①）



明り窓を設置したことで、管理費が削減された。（意見②）



母親が男の子を連れて入れるよう、女性トイレにも子供用小便器を設置した。（意見③）



個室に棚やフックを設置した。（意見④）



洗面スペースにも荷物置きを設置した。（意見④）



男女の入口を離し、プライバシーに配慮した。（意見⑤）



ストレッチャー利用者も利用しやすいよう多目的トイレのスペースを広くとり、介護用ベッドを設置した。



建物の形状を長方形に整えるため、一般用トイレを道路側に寄せ、休憩スペースを設けた。

まとめ

- ・ 障がい者団体の意見を参考に、利用者の立場で細部にわたってユニバーサルデザインを追求した事例である。

公共建築

フェリー発着所整備 緑地 駐車場 休憩所 県と市が協調し、しまの玄関口にふさわしい
 旅客ターミナル 倉庫 連絡通路 県市共同 一体感ある施設を建設

【比田勝港ターミナル等整備事業】

事業概要

対馬市上対馬町比田勝
 貨物倉庫（プレハブ200㎡）、ターミナル（450㎡）
 フェリー用ふ頭におけるターミナル等の整備工事
 （旅客ターミナル、物流倉庫の新築、緑地・駐車場の整備）



対岸から見たターミナル

地域の特徴

対馬の北部、比田勝市街地の外れに位置する港であり、福岡へ行き来する島民や釜山からの観光客が多く利用する。同じ旧上対馬町内には、白砂の三宇田浜海岸やヒトツバタゴの群生地などがあり、豊かな自然環境に恵まれている。

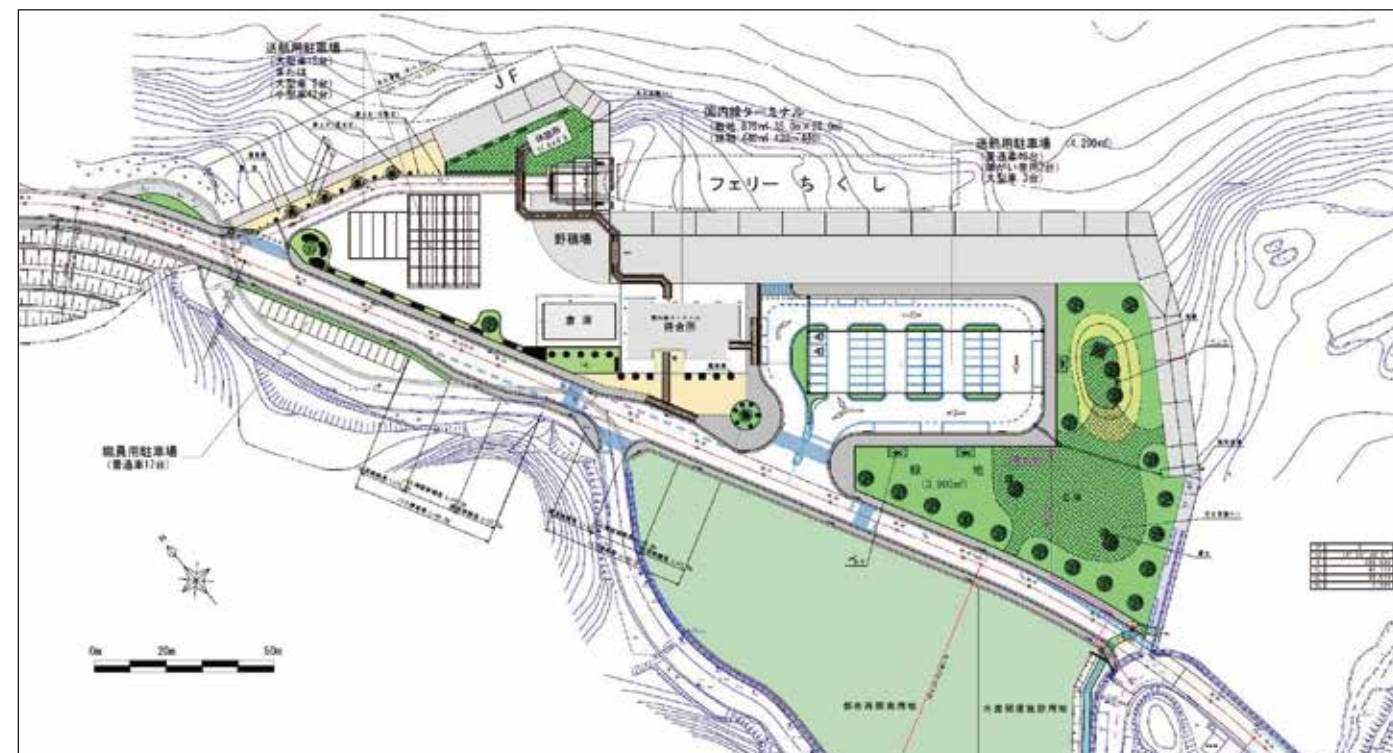
専門家の意見

- ①倉庫・ターミナル・休憩施設が協調し合い、一体感を持ったデザインにした方がよい。
- ②倉庫は切妻屋根、ターミナルは段々陸屋根と形状が揃っていないので、連続感があるようにできないか。

配慮した点

- I 設置者が異なる（倉庫：県、ターミナル：市）ため、お互いに調整し合い、それぞれの施設の調和を図った。（意見①②）
- II 海や対岸からの眺望に配慮した。（意見①②）

【計画平面図】



【整備のポイント】



ターミナルの一部と倉庫の屋根の形状をフラットにし、景観性の統一を図った。（意見①②）



待合ホールは、開放的で海を見渡せるような配置とした。

まとめ

- ・設置者（県・市）がデザイン調整を行いながら設計したことで、調和のとれた施設となった事例である。